



JAPAN COAST GUARD **Mobile Cooperation Team**

JICA 課題別研修「海上犯罪取締りコース」開催 (結果概要)

～シーレーン沿岸国の海上保安能力の向上を目指して！～

1 日程

令和7年7月1日（火）～8月8日（金）

2 研修場所

海上保安庁、海上保安試験研究センター、第三管区・第七管区海上保安本部
東京海上保安部、横浜海上保安部、横浜海上防災基地、横須賀海上保安部、
門司海上保安部、関門海峡海上交通センター、北九州航空基地及び北九州航空
研修センター 他

3 参加国及び研修員 16か国20名（下線は初参加国）

アフリカ：タンザニア2名、ガボン1名、ジブチ1名、ナイジェリア1名、
モザンビーク1名

アジア：カンボジア1名、インドネシア1名、ベトナム1名、
マレーシア1名、フィリピン3名、モルディブ2名

大洋州：ソロモン諸島1名、トンガ1名、パラオ1名

南米：アルゼンチン1名、ウルグアイ1名

4 活動概要

独立行政法人国際協力機構（JICA）の枠組みの下、JICA 横浜とともに海外の海上保安機関職員に対して、参加国の海上犯罪取締能力の強化を目的として、JICA 課題別研修「海上犯罪取締りコース」を実施しました。

研修員に海上法執行に必要な知識・技術を付与すべく、海上犯罪取締りに関する専門分野の講義や実地訓練を行ったほか、海上保安庁関連施設及び巡視船艇の見学も行いました。

研修員は帰国後、本研修で培った知識・技術を各々の所属機関にてフィードバックし、海上保安政策の立案や職員の能力向上、業務の改善等に役立てる予定です。

海上保安庁は、引き続き各国の海上保安機関への能力向上支援を通じて、連携を強化しつつ、法の支配に基づく国際秩序の維持及び海の平和と安全に貢献してまいります。



制圧訓練（横浜防災基地）



**採水分析実習
（海上保安試験研究センター）**



東京湾見学（東京海上保安部）



警備実施手法見学（横浜海上保安部）



**実演による密漁取締り講義
（横須賀海上保安部）**



鑑識研修（門司海上保安部）



施設見学（北九州航空基地）



施設見学（関門海峡海上交通センター）